

# 神奈川大学資格教育課程通信

## 第 38 号

編集・発行 神奈川大学資格教育課程センター運営委員会

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

☎045-481-5661(代) 内2051

### 「これからの国語科教師と国際日本学部」

国際日本学部教授 澤口 哲弥



教科となってきました。ここでの「楽しみ」とは、既存の国語科の概念にとらわれない自由度が増したという意味での楽しみです。

今年度、神奈川大学国際日本学部へ赴任しました。専門は国語教育学で、おもにクリティカル・リーディングを専門としながら、国語科と社会をつなぐ授業方略の研究を進めています。

従来は国語科のイメージは、どちらかと言えば領域専門性にとらわれた世界でした。たとえば、文学を読むときはその文学作品の古典的な読まれ方を習得し、世界観を知識として学び、その理解に努めるといったことを旨としてきました。もちろん、これはこれで教養を育む意味で重要な学びのスタイル

でした。ただ、そのような学びは、テキストの解釈を拡張させ、自分ごとや実社会と関連づけることが希薄になりがちで、国語科の学びが国語科で完結してしまうという問題を内包していました。しかし、新しい学習指導要領が示す「思考力・判断力・表現力等」の能力観やそれを具現化するための「主体的・対話的で深い学び」によって、いま国語科はすべての教科の土台となる存在として注目されるようになりました。あらゆる教科の学びに「見方・考え方」を働かせるには、こ

ば、専門性に精通しながらも、学科を超えた横断的な学びを求めることができる国際日本学部で国語科の教師を目指すということは、まさに時代の潮流に乗ることと言えるのではないのでしょうか。私の今の立場での目標は、ひと癖ある国語科の教師を育てることです。既存の捉え方に満足せず、クリティカルに向き合う姿勢を持ち、問題に切り込んでいく教師です。新しいことには、少々向かい風が吹くかもしれませんが、それを揚力として、新しい国語科を創造していつてもらいたいと思っています。

このような観点から見れば、教育が他教科や社会との関連性で語られるようになってきたことは、大きな転換点と言えるでしょう。これからの国語科の教師には、国語科に関わる知識にとどまらず、広範囲な領域の知識や経験を有してそれらを読む行為に活かし、柔軟にものごとを捉え直すことができる資質・能力が求められることになるでしょう。メディア、音楽、サブカルチャーなどをはじめ、自国の民俗、外国の文化や言語、社会科学の領域など一見国語科とは縁のない世界の中に精通していることが、意外な力となるのです。

### 私と博物館と神奈川大学

国際日本学部准教授 角南 聡一郎



は約20年間、博物館や寺院に保管されている、文化財の調査研究、保存修復などをおこなってまいりました。また長年、非常勤講師として博物館実習のお手伝いもしました。

今年度より国際日本学部へ赴任し、学芸員課程に関する科目を担当しております。角南(すなみ)と申します。同時に日本常民文化研究所の所員にも加えていただきました。告白すると、私はこれまで日本常民文化研究所と関係する、ヒトとモノと関わりながら歩んできたのです。前職(元興寺文化財研究所・奈良市)で

世界遺産である元興寺境内には法輪館という宝物館があり、国宝や重要文化財などが収蔵されています。元興寺文化財研究所は、1967年に元興寺仏教民俗資料研究所(1978年元興寺文化財研究所と改称)として設立されました。同年に約10万点以上の品々が「元興寺庶民信仰資料」として国指定重要有形民

俗文化財に指定されています。私が担当していたのは、これら有形民俗文化財でした。ご承知のとおり、日本常民文化研究所の前身となる「アチックミュージアムソサエティ」(1925年アチック・ミュージアムと改称)は、1921年に渋沢敬三により創設されました。1942年に日本常民文化研究所へと改称され、戦後に財団法人として再出発し、1981年に神奈川大学に招致されました。実は元興寺民俗資料研究所は、古野清人、祝宮静といった、アチック・ミュージアムと関わりが深かった研究者の方々に、ご尽力いただいで設立されたのです。

アチック・ミュージアムの収蔵品は、渋沢敬三により1939年に日本民族常学会付属博物館に移管され(財団法人民族学振興会編1984『財団法人民族学振興会五十年の歩み』財団法人民族学振興会)、1977年に完成した国立民族学博物館(大阪府吹田市)に収納されることになりました。また、渋沢敬三がアチック・ミュージアムとは別に構想した、日本実業史博物館の資料は、国文学研究資料館(東京都立川市)に収蔵されています。これら2つの資料群の調査研究に携わることができました。

2013年、神奈川大学展示ホール(横浜キャンパス3号館)に、神奈川大学日本常民文化研究所展示室が開室されました。私は、このことは日本常民文化研究所の博物館関連活動が再始動されたことを意味するものだと思っています。1993年に日本常民文化研究所を母体とする大学院歴史民俗資料学研究所が設置され、2020年にはその学部に相当する、歴史民俗学が国際日本学部を設置されました。ここで学芸員養成に携われることは、私の歩んだ日本常民文化研究所との浅からぬ関係と無関係とは思えません。先人の思いを受け継ぎ、未来の学芸員たちにバトンを渡す役目を担って参りたいと思っています。

表2 2021年度教員採用者数

	在学生	卒業生
法学部	1 (1)	3
経済学部	0	2
経営学部	0	0
外国語学部(大学院生含む)	3	9
人間科学部(心理発達、人間社会コース)	1	0
人間科学部(スポーツ健康コース)	5	11
理学部(大学院生含む)	7	6
工学部	0	2
計	17	33

注：( ) は内数で、私立学校採用者を示す。

表1 2020年度教職課程登録者・内諾者・教育実習者数

	1年次		2年次		3年次		4年次			大学院		科目等履修生	
	仮登録	本登録	本登録	内諾	本登録	内諾	実習	内諾	実習	内諾	実習	内諾	実習
法学部	47	17	11	4	33	2	6	0	0	0	0	0	0
経済学部	72	27	36	16	42	0	11	0	0	0	0	0	0
経営学部	41	6	12	4	6	0	2	0	0	1	0	0	0
外国語学部	51	22	32	21	35	4	17	2	0	0	0	0	2
国際日本学部	56												
人間科学部(心理発達、人間社会コース)		11		8		1	7	0	0	0	0	0	0
人間科学部(スポーツ健康コース)		38		25		0	20	0	0	1	3	0	0
理学部	112	49	59	15	78	0	27	0	6	1	5	0	0
工学部	84	30	32	15	31	1	9	0	0	0	0	0	0
計	544	200	252	108	298	8	99	2	6	3	10	0	0

注：1. 「内諾」は2021年度教育実習の「内諾許可者数」を示す。  
2. 「実習」は2020年度教育実習の「実施者数」を示す。

# 2020年度各課程活動報告

## 教職課程

2020年度は、コロナ禍の中、例年になく対応に追われた一年となりました。

### 授業

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前学期は、すべてオンライン授業（オンタイム型、オンデマンド型）となりました。後学期は、実習関係の授業を中心に、少人数の授業では、感染防止対策の厳格な実施の下で対面授業が可能となりました。

前学期のオンライン授業は、ほとんどの大学教員にとって初めての試みで、各自が試行錯誤しながらなんとか実現したというのが実情でした。それまで当たり前と思っていた対面式の授業とは勝手が違い、準備により多くの時間が取られましたし、ICTへの習熟が急に必要になる状況下では、授業の準備とICTに関わるスキルアップが同時並行的に求められるという意味で二重の負担が生じました。学生と教員のコミュニケーション、また、学生同士のコミュニケーションをどのようにとるか、この点は、アクティブラーニングを取り入れた授業を実践する際、オンライン授業で大きな課題となりました。



対面と遠隔のハイブリッド授業の様子

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、新学期から多くの学校で臨時休校等の体制が取られ、例年通り前学期に実習を行うことが困難な状況でした。文部科学省からは実施時期を秋以降に変更することや実習期間の弾力化に関する通知が出され、大半の学生が後学期実習となりました。うち2割は実習期間が短縮されたため文部科学省の通知に不足する実習期間を学校活動や大学における演習で代替しました。

コロナ禍において、学校現場は多忙を極めたにも関わらず、教育実習や学校体験をお引き受けくださった先生方に、また、代替授業をご担当いただいた先生方に感謝いたします。

### 介護等体験

介護等体験においても全国的に体験の実施が非常に困難な状況となりました。当初、希望者全員体

Zoomを用いたオンライン（オンタイム型）授業の形態で報告会が行われました（12/18）。

全てのミニゼミがレベルの高い内容を素晴らしいチームプレイで報告していました。

学生のみさんのICT活用能力、コミュニケーション能力、探究能力、そして、新たな環境への順応力の高さに感心しました。

### 教育実習

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、新学期から多くの学校で臨時休校等の体制が取られ、例年通り前学期に実習を行うことが困難な状況でした。文部科学省からは実施時期を秋以降に変更することや実習期間の弾力化に関する通知が出され、大半の学生が後学期実習となりました。うち2割は実習期間が短縮されたため文部科学省の通知に不足する実習期間を学校活動や大学における演習で代替しました。

### 教員採用試験対策

教職課程の先生方のご尽力で、教員採用試験に向けては、オンライン指導に加えて、感染防止対策の下、面接等についての対策指導が対面で行われました。

厳しい状況の中で学生の将来のためお力添えをいただいたことに御礼申し上げます。

### 教員免許状更新講習(必修・選択必修領域)

当初、例年通り対面式の講習を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で、急遽、オンライン講習（オンデマンド型）に切り替えることが決定され、8月中旬に実施されました。受講者からは、予想以上の高評価をいただきました。講習の責任者と講師の先生方には、オンライン講習への切り替えにご対応いただいたことに感謝いたします。

来年度の講習は対面で実施予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインにて実施できるように調整中です。

### 教職課程非常勤講師打ち合わせ会

例年、学部ごとに対面で実施されていますが、今回は横浜・ひらつかの両キャンパスと、2021年度に開設されるみなとみらいキャンパスで教職課程科目を担当する先生を交え、オンライン（オンタイム型）の懇談会となる予定です（2021年3月実施）。

実施されていますが、今回は横浜・ひらつかの両キャンパスと、2021年度に開設されるみなとみらいキャンパスで教職課程科目を担当する先生を交え、オンライン（オンタイム型）の懇談会となる予定です（2021年3月実施）。

### 社会教育課程

社会教育課程では、学校のひと・まちづくりのエキスパートを養成しています。2020年度より新カリキュラムが開始し、「社会教育士」(称号)の第一号も生まれました。実践現場の第一線で活躍する多数の講師陣を迎えました。

【リアルな体験型活動】では「社会教育実習」を実施し、コロナ禍で実習先の確保が困難を極めました。15名は11施設で実習を行いました。①自治体の生涯学習センター等（静岡県駿東郡長泉町、神奈川県愛甲郡愛川町、新潟市、水戸市、前橋市）、②青少年教育施設（国立阿蘇・曾爾、山梨県韮崎市）、③民間施設（荒川区社会福祉協議会、ハーモニィセンター、コサイエ）、【企画力・運営力】を高める活動は、「社会教育経営論」で前後期に事業展開しました。①横浜市神奈川区の助成金を学生プレゼンで獲得。「かながわユースフォーラム」のオンライン事業の実施（2020.7.18）。学生（33名）の企画に、多様な主体（役所、区社協、ケアプラザ、NPO）から協力を得ました。当日は150名程度の学生参加で、活動の一步となりました。②シブヤ大学（NPO）と学生とがコラボし、4つの講座を開設しました（2020.12/12、12/19）。オンライン授業で、シブヤ大学のスタッフが全面的に学生指導を行い、講座が実現しました。【多様な世代との交流】「川崎市子ども夢パーク」の「こどもゆめ横丁」に参加しました。【キャリア教育】は、定期的に書類や面接等の指導を重ね、公務員に2名（埼玉県、静岡県内自治体）に合格しました。次年度は、みなとみらいでも新規展開をしたいです。

### 学芸員課程

齋藤 ゆか

学芸員課程は、学芸員としての基礎知識や文化財・自然科学系資料を取り扱う技能の習得を目的としています。今年度は横浜キャンパス（以下、YC）と湘南ひらつかキャンパス（以下、SHC）でそれぞれ開講しました。

### 日本語教員養成課程

関口 博巨

在留外国人が増加し日本語学習者が多様化する現在、専門職としての日本語教師の質がより求められるようになっていきます。日本語教

とくに影響を受けました。3年次の「博物館実習Ⅰ」は、例年、YCならば日本国民文化研究所蔵の古文書や民俗資料を取り扱い、SHCならば平塚周辺の恵まれた自然を利用する実習を行ってきました。いずれも、本学の学芸員課程ならではの特色ある実習です。しかし今年度のYCの実習は、オンライン授業と対面授業を組み合わせたものとせざるを得ませんでした。

4年次の「博物館実習Ⅱ」は、県内外の特色ある博物館等の施設での見学実習と、課程の集大成となる館務実習を行う科目です。今年度は、YCで6名、SHCで20名が実習に参加しました。しかし、一部の博物館では感染防止の観点から実習期間を短縮していたため、実習参加者のうち1名は他の博物館に依頼して補充の実習を行いました。

2021年度はみなとみらいキャンパス（以下、MMC）が開設されます。2022年度までの2年間、学芸員課程はYC・MMC・SHCの3キャンパスで開講されることとなります。2023年度には理学部がYCに移転します。万全の準備が必要です。

員養成課程では、時代に対応し、国内外のあらゆる場面で活躍できる日本語教員の養成を目的とし、様々な知識と技術を身に付けるための教育を行っています。2020年度も4年生7名が教育実習を行い、3名が飛鳥学院（横浜市中央区）で留学生対象の日本語教育を、4名が川崎市ふれあい館（川崎市川崎区）で外国につながる子どもたちの学習支援を経験させていただきました。何よりもコロナ禍の厳しい状況にあって、例年通りに実習を受け入れ、温かく細やかなご指導をくださった実習校の先生方に心から感謝申し上げます。実習生にとっても大学構内への立ち入りに制限があり、協力し合い共に準備を進めることが難しいという例年とは全く異なる環境でしたが、実習後の報告からは自らの工夫で不自由な状況を打開し、多くの学びと気づきを得たことがうかがえました。7名の実習生は卒業と同時に本課程を修了し、今後は一般企業に就職する者、日本語教育に関わる者、留学を希望する者など、様々な道に進む者が出ています。異文化理解の姿勢、コミュニケーションや課題解決のスキル等は、多様な社会において、職業や場所を問わず必要とされるものです。修了生がそれぞれの場所で活躍することを期待したいと思います。

吉川 香緒子

教職課程 教育実習記録より

2020年度、教職課程では全国の中学校・高等学校の協力のもと、99名が教育実習を行いました。実習生は「教育実習記録」に、出来事のみならず振り返りや得た気づきなどをまとめています。実習生の学びの様子と、実習校の先生方からのご指導・ご助言を抜粋して紹介します。

今日から朝と帰りのHRの運営がはじまりました。朝のHRでは朝礼での伝達事項や自身があつたことを伝えるだけでなく、生徒の顔色や様子を見て体調が悪そうな生徒がいなければ、生徒の話をきかせることが大切だと感じました。
【指導助言】HRでは、伝達事項を伝えるのは当然ですが、生徒の様子を把握することが大切だと思います。高校生は心

博物館実習を終えて ウイズコロナ時代の博物館を考える

私が初めに実習先として応募したのは、横浜市にあるシルク博物館だ。養蚕について興味があり志願したのだが、5月中旬に博物館実習が中止になった。新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出されていた当時、世の中の博物館は開館ができず、先の見通しが立たなかったからだろう。これを経て、次に応募した横浜開港資料館では実習を受け入れていただくことができた。当初は、6日間での実習が予定されていたのだが、新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、例年と比べてさらに短期間となる4日間での実習に変更となった。実習生は4〜5人

ずつ班分けされ、3密にならないよう実習が行われた。実習内容においても例年行われている内容に加えて、コロナ禍における博物館のあり方を学芸員の方々と一緒に模索した。誰も経験したことのない状況下で、新しい生活様式を踏まえ、固定観念に囚われずに実習生と学芸員の方々とディスカッションが行えたことは、新たな礎を築く第一歩に繋がるのではないかと思う。私の博物館実習は応募から実習後まで常に新型コロナウィルスが隣り合っていたが、この状況下だからこそ新たな博物館のあり方を学び、考えることができたのは大きな収穫である。

重要です。この失敗を生かしていききたいと思います。
【指導助言】失敗は悪いことではありません。失敗を放置するから大変な事になると思います。失敗は成功への気づきです。失敗しないことより挑戦しないことが一番の問題です。

今日は、研究授業に向けた指導案作成に集中した。少し苦戦したが、学習内容と、教師側の留意点を考えると、いつもに比べて具体的な構想ができた。研究授業では指導案に記した細かい部分まで気を配りながら授業をしたいと思う。
【指導助言】指導案は本来毎時作成して実践するものですが、一つの指導案をみれば、誰がみても授業を行えるというよ

うな細かな活動・支援が記載されていると良いでしょう。来年4月からは必ずといっていいほど指導案を作成し、授業を行わなければならないと思います。その前のテストと思いがんばっていきましょう。
本日、ある先生の授業内で「恋愛こそ究極のエゴイズム」というお話がありました。そして、私の授業ではエゴイズムが働いていたように感じました。調べてきたことのほとんどを話し、生徒を受け身にさせてしまったからです。もともと生徒が主役になれる授業にするために、何をすればいいのか考える必要があると気づきました。
【指導助言】授業は生徒のためにあるべきもの」という原

日本語教育実習を終えて イメージの教育現場と実体

私は日本語教員養成課程で学んだことの集大成として、飛鳥学院で実習を行った。新型コロナウイルスの影響で実習の日程が延期になることや、実習の仲間と会えないことは例年とは違う大変さとなった。しかし実習期間中は楽しく、様々な学びがあった。日本語学習者に日本語を教えたことのない私にとって初めての経験は非常に緊張したが、思った以上に学習者の反応が良かった。そのおかげもあり、実習を楽しみながら終えることができた。働いていらいっしょの先生方と学習者について話す機会があり、学習者の中には新

聞奨学生として朝早くから働きながら日本語を学んでいる者や望んで日本に来ていないわけではない者など多様な多様であると教わった。《日本語学習者は多様多様》と知識として持つてはいたが、実際に目の当たりにするとより日本語教育の難しさを実感した。実習を通して、日本語を教えることのやりがいや楽しさ、大変さを感じるだけでなく日本語学習者の現状や問題を再認識する機会となった。今後日本語教育に関わる機会があれば、今回の実習で学んだことを活かしていきたいと思う。

点に立ち返れたのは良かったと思います。大いに悩んでください。
ゲームをゲームのまま終わらせず、何ができるようになったのか重要であるということが分かりました。ああ楽しかったと思う授業から、ゲームをやったおかげでこれができるようになった！楽しい！と思える授業にしていくように頑張ります！
【指導助言】英語は楽しく学ぶ方がいいのですが、楽しいだけ授業と、学んだ感がある授業とでは生徒の達成感が違うと思います。生徒が「できた。わかったー使ってみよう」と思えるような授業づくりを心がけましょう！

授業実習の最後として非常に思い出に残る授業でした。多くの先生方からご教示いただきながら同時にお褒めの言葉もいただきました。アクティビティの活動を生徒が楽しんで取り組んでいたことがとても嬉しく、この授業がうまくいった良かったと思います。
【指導助言】生徒たちと学びを実感する瞬間の嬉しさは格別ですね。また、学級担任としてクラスの生徒たちと過ごして、気持ちを通じたとき、この仕事に就いて良かったと感じます。教師生活がスタートし、悩むことも多々あることでしょう。そんな時、この実習ノートを読み返してみてください。

私はこの夏、熊本県阿蘇市にある「国立阿蘇青少年交流の家」で1週間の実習を行った。参加した「阿蘇山一周100キロチャレンジキャンブ」は、文字通り、阿蘇山の周り100キロを子どもたちと一緒に歩く青少年事業である。阿蘇で見た景色、感じたことは今でも鮮明に覚えている。毎朝、日の出とともに歩き始め、子どもたちと一緒に汗を流す。子どもは体力を余らせているため、私の体力が追いついていないことに気づいた。毎日少しの悔しさと、みんなでひたすらゴー

知らない世界へ飛び込もう！ 阿蘇山100キロ歩くチームリーダー

ルに向かって歩き続ける喜びを感じていた。日を追うごとに主語が「私」から「私たち」に変化するなど、子どもたちが「チーム」の一員として懸命に頑張るようになっていった。会って一週間しか経っていないのに別れの時には涙をこぼしていた。「絶対にはまた会おうね」と固く約束を交わしている姿に私は心打たれた。

「国立阿蘇青少年交流の家」での実習にはたくさんの発見と、自分が知らない世界があった。今だからこそ少しの勇気と好奇心をもってこれからはチャレンジし続けたい。

神奈川大学 心理・教育研究論集 発行 神奈川大学教職課程研究室 第48号 第49号
論文
・教育相談活動にバウムテストを使用することについてある養護教員の高校新入生ワーク事例から... 加藤美智子
・コロナ禍からの教育実習の在り方に関する研究... 小林 力
・在日外国人生徒の進路選択における困難と支援—在日中国人生徒を事例として— 郭 豊
・「教育実践に関する科目」の科目区分と内容構成... 鈴木そよ子
・「体罰」に関する議論—その理解可能性と社会的意味をめぐって— 今井 聖
・地域社会と学校の関係についての考察—教育問題の地域的な偏りに注目して— 澤里 翼
・音楽指導場面にみられた重複障害児の社会的相互交渉での歌いかけの影響... 田坂 裕子
・古代ギリシアにおける徳育について—プロティコス「ヘラクレスの選択」を例として— 白川ゆう子
・病院内教育の理念と経験としての実践—教師の語りに着目して— 伊藤 啓子
・引きこもりについて考える... 田中奈津子
・中学校社会科教育における「身近な地域の歴史」学習の意義について—総合的な学習の時間との連携の重要性— 鶴田 真紀
・学校における特別支援教育をテーマとした校内研修会の充実を図る... 中野 修一
・校内研修受講者を対象とした事後アンケートをもとに... 益田聖矢子
研究ノート
・カリキュラム研究の個人的回顧と展望 (1) ... 安彦 忠彦
・新教育課程における評価活動に関する考察—中学校における評定の現状と課題— 安部 賢一
・学習指導における ICT 環境の活用について... 伊藤 眞人
・数学の学習指導における ICT 機器の活用についての考察... 伊藤 眞人
・コロナ禍における工業高校生の進路指導の現状と課題—就職を中心に— 後藤 博史
・学校教育と教員養成の理念をめぐる歴史的考察—1970年代以降の初任者研修制度に着目して— 高嶋 江
・中学校数学科の学習指導案作成上の留意点等について (1) ... 平田 治夫
・地域との関わりが青年期のキャリア発達に及ぼす影響... 三國 隆子
指導法・実践報告
・高等学校における統計の指導について... 岸谷 正彦
・中学校理科における防災教育... 西 嘉之
・新型コロナウイルス感染症危機で学校に何が起きたか—予測不能事態に向き合う組織力と教師力— 安部 賢一

### 後輩へのメッセージ 「教員・公務員採用試験合格者より」

神奈川県 高等学校 英語 合格(大学推薦)  
「そろそろ頑張ろうと思うのやめませんか?」  
外国語学部 英語英文学科 4年 夏原 研

私は2年浪人し、多くの大学に落ちました。原因は私が想像を絶する怠惰だからです。

2年間の実質ニート生活を遂げ、よりいっそう怠惰に磨きがかかった私は大学でもその特性を遺憾なく発揮しました。しかしこのままではダメだと思い、中毒だったSNSを全てアンインストールし、自分を鼓舞するために待ち受けを「明日やろうは馬鹿野郎」に設定しました。しかし、三日後からInstagram、YouTube、Twitterと徐々に再インストールしていき、なんと、一週間後には元の生活に戻り

私は高校生の頃に、本格的に教員になるという夢を持ち始めました。高校では教員免許が取得できる大学に進学するために勉強に励み、大学に進学してからは、教職課程の授業以外にも学校ボランティアなど様々な活動に積極的に取り組んできました。そして、やっと教員のスタートラインに立つこ

れるのだろうかと考え込んだり、自信を無くしたりする経験がありました。しかし、どんな時も「教員になりたい」という強い気持ちを持ち続けることで諦めずに頑張ることができました。

神奈川県 中学校 社会 合格  
「今いる場所で」  
人間科学部 人間科学科 4年 中島 諒

私は高校1年生の時に、担任だった恩師の、生徒のことを第一に考え行動していた姿に憧れを抱いたことがきっかけで、教員になると決意しました。

私は、もともと理科の教員になりたいと考えていましたが、受験に失敗したことを理由に、理科の教員を諦めました。そのため、一度は教員になることも諦めようかと考えましたが、それでも教員になる夢は諦めることができず、社会科の教員になると決意しました。地理歴史・公民を初めから学びなおすことになり、と

神奈川県 中学校 数学 合格  
「諦めない心を持って」  
理学部 数理・物理学科 4年 海野 茉奈

「学校の先生になる」と最初思ったのは小学校3年生の時でした。幼い頃から人に何かを教えることが好きで、長年将来の夢として掲げてきました。夢であった教員として4月から第1歩を踏み出す上で抱負があります。それは「諦めない心」を持ち続

て大変でしたが、「自分が今いる場所で頑張らなさい」という恩師の言葉に支えられ、努力し続けることができました。その結果、現役で合格をつかみ取ることができました。

相模原市 中学校 理科 合格  
「大変なときにこそ、人は大きく変わる」  
理学部 生物科学科 4年 渡部 樹

「大変なときにこそ、人は大きく変わる」ことができる。この言葉は、高校時代の恩師からいただいた言葉です。私が教員採用試験に合格するまで、何度も「大変だな」と思うことがありました。

友人よりも早く学校に来て、友人よりも遅くまで教職課程の授業を受けたこと、数々の試験、教育実習、そして教員採用試験の勉強等、自分の夢を叶えるためという事は理解していましたが、正直大変だと思っていました。しかし、その中でも恩師からいただいた言

埼玉県 小・中学校事務 合格  
「伝える力を鍛えよう」  
経済学部 経済学科 4年 町田 和裕

私は、卒業後に「埼玉県の小中学校事務」として働く予定です。将来は、社会教育課程で得た地域連携の部分を活かして、学校外教育の価値を伝えていきたいです。

公務員合格までの道のりは長く、試験は6~10月まで続きます。この間にモチベーションを保つためには、

会教育の学びや子どもとの関わりから実践したいことを強調しました。面接では、何を学び、感じたのか、それが働く中でどのように活かせるのかを、自分の言葉で伝える練習を何度も行いました。

これから社会教育課程で学ぶ方は、現場での体験を大事にし、そこで得た気づきは忘れずにアウトプットしてください。悔いのない大学生生活を願っています。

これを乗り越えたい。この言葉を胸に、「ここを乗り越えたい先に成長した自分がある」と前向きな気持ちと強い向上心を持って努力を重ねてきました。うまくいかないことも何度もありましたが、同じ志を持つ仲間や、それを支えてくれる方々のおかげでここまで来ることができました。

これから教師を目指す皆さんも前向きに努力を重ねてください。そして何より、周りの方々への感謝の気持ちと、謙虚な姿勢を忘れずに頑張ってください。



### 編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大は、資格教育課程センター運営に大きな影響を与えました。それでも、教育実習を含む実習を無事に行うことができたため、各課程の実習生の受入に心から感謝申し上げます。これからも資格教育課程を介して、不透明な時代を生きていく強い学生を育てていきたいです。

齋藤 ゆか

2020年度  
資格教育課程センター  
運営委員会名簿

委員長  
大西 勝也(教職課程)

副委員長  
関口 昌秀(教職課程)

齊藤 ゆか  
(社会教育課程)

【教職課程】  
荻野 佳代子

加藤 美智子

古屋 喜美代

間山 広朗

近藤 昭一

鈴木 英夫

鈴木 そよ子

望月 耕太

【学芸員課程】  
関口 博巨

大川 啓

小熊 誠

佐野 賢治

周 星

角南 聡一郎

丸山 泰明

安室 知

山本 志乃

廣田 律子

日野 晶也  
加瀬 友喜

【日本語教員養成課程】  
尹 亭仁

【資格教育課程課】  
八重樫 典子

本多 夏織

佐武 亜紀子

里村 友実

間島 祐紀

【平塚教務課】  
小金 由理奈  
蕪木 青空